



RIKKYO IKEBUKURO

JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

S C H O O L G U I D E *2021*



見えないものに 目を注ぐ

わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。
見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。
新約聖書 コリントの信徒への手紙 二 4章18節

✠ キリスト教に基づく人間教育

人は一人ひとり、神様から大切な賜物をもって生まれてきました。
人はこの世界に、かけがえのない存在として尊重されなければなりません。
わたしたちは生命の貴さに気づき、共に学び合い、成長していきます。



✠ 「テーマを持って 真理を探究する力」を育てる

一人ひとりとは違うこだわりを持って生きています。
そこには神様から与えられた「使命」が秘められている
と考えます。
自らの才能（個性）に気づき、とことん追求していくこ
とで真理に近づいていきます。

✠ 「共に生きる力」を育てる

学校生活の中で、クラブ活動、生徒会活動、学習活動
を通して、仲間と共に生きる。
そこでは、自分とは違う人の考え方や思いをしっかり
受け止め、互いの相違を超えた仲間の生き方を切り
拓いていきます。



受け継がれる、 キリスト教の精神

道ヲ伝ヘテ己ヲ伝ヘズ

立教学院の母体となっている聖公会は、カトリック、東方正教会に次ぐ、世界で3番目に大きな伝統的キリスト教会です。16世紀前期に英国国教会から生まれた教派で、1606年のヴァージニア植民を機にアメリカへ上陸、18世紀末に「米国聖公会」として組織が成立しました。本校では、ウィリアムズ主教が立教学校をはじめた当初から、聖書に基づき真理を探究する姿勢を大切にしています。

立教学院の創立者 ウィリアムズ主教

(チャニング・ムーア・ウィリアムズ / 1829~1910)

1829年、アメリカ・ヴァージニア州リッチモンド市に生まれる。1859年、日本最初のプロテスタント宣教師として長崎に上陸。1874年、東京・築地に立教の前身となる私塾を開塾。1887年、日本聖公会を組織する。1889年、主教職を辞任、宣教師として関西各地の伝道に従事。1910年、故郷リッチモンドで永眠。1912年、立教関係者がリッチモンドに師の生涯を簡潔に表す「道ヲ伝ヘテ己ヲ伝ヘズ」と刻んだウィリアムズ追慕碑を建立した。



校長メッセージ 一貫連携教育により、社会で生きる力を身につける

本校は、立教小学校から立教大学を含めた立教学院という組織の中で、一貫連携教育を行っています。この一貫連携教育とは、単にそのまま上級の学年に進めるということではなく、各学校が責任を持って上級の学年、学校に推薦できるように人物を育て、最終的に社会で生きる力を身につけるということを意味しています。

現在我々が生きている社会はますます複雑になり、そして急速に変化しています。このような社会で生きていき活躍するためには、これまでよりもはるかに幅広い知識と深い思考力が必要とされます。

このために立教学院では「テーマを持って真理を探究する力」と「共に生きる力」を身につけることを目標としています。「テーマを持って真理を探究する力」とは、主体的にテーマを探し出し、自ら知識を得ようとする力のことです。また「共に生きる力」とは、他者の人間性を理解し、他者の痛みを分かち合うこととなります。これら二つの力を身につけるために、本校では基礎学力を重視するカリキュラムとともに、さまざまな体験学習プログラムを用意し、同時に豊かな的確な日本語を使う能力と、生きた英語の能力を身につけることに力を入れています。

校長 豊田由貴夫



History



『立教中学校100年史』他参照



多くの路線からアクセスできる好立地ながら

学びやすい 恵まれた環境

新宿・渋谷に並ぶビッグターミナルながら、
本校をはじめ教育機関・公園・文化施設が多いアカデミックな街
池袋にあり、立教大学に隣接している。



最新のICT環境

- ☑ 「Surface」を1人1台使用(高校生)
- ☑ 電子黒板×プロジェクターの活用
- ☑ 校舎全域にWi-Fi(無線LAN)環境を完備

賜物 探しの

6年間

生徒一人ひとりの能力・個性は、
神さまから与えられた
かけがえのない「賜物」です。
それぞれの賜物を引き出し、
伸ばしていくことを
大切にしています。

立教池袋中学校・高等学校では、中高一貫を超え、
大学までの10年間で視野に入れた「立教学院一貫
連携教育」を行っています。生徒は自分の将来につ
てじっくり考え、興味や関心を追求していきます。



充実の運動施設

- ☑ 陸上、野球、サッカー、テニスなどに対応できる
全面人工芝のグラウンド
- ☑ 1周125mのランニングコース、
トレーニングルームを完備した体育館
- ☑ 50m×6コースの室内温水プール

学校生活の1日



学びの特色

学習の基礎となるのは「言葉の力」。
基礎を理解し、基本的な表現力の育成のために
豊かで的確な日本語と生きた英語を使う能力を育みます。

特色

異文化を理解し 交流できる国際人になる 英語教育

週7時間ある授業のうち、1クラスを半分に分けた少人数の授業を実施したり、週に1度はネイティブスピーカー6人いずれかの授業を受け、生きた英語に触れています。

提携校との体験留学、英国語学研修など、授業以外でも英語を使った国際交流プログラム、海外キャンプの機会を設けています。また、個人での留学も推奨しています。

英語専用教室
での
少人数授業

週7時間の
授業数

英語教員数
23人
(うちネイティブ教員
6人)

国際交流
(プログラム・留学)

特色 2 定期テストの結果だけでなく、
日頃の学習も評価

認定制評価

A合格 合格とされた者の中で、特に優れた者。

B合格 合格とされた者の中で、優れた者。

合格 学年末の教科認定会で個々の生徒の
1年間の成績資料をもとに審議した結果、合格と認定された者。

不合格 学年末の教科認定会での審議の結果、
合格と認定されなかった者。

中学校・高等学校とも各教科の成績は「認定制」という独自の方法で学習評価を行います。

各教科ごとに学習内容を定め、目標に到達しているかどうかで合格・不合格を認定します。全教科に合格すると進級が認められます。

各教科とも定期試験、平常の成績、出席状況・授業態度、学習への取り組み、自由研究などが評価対象になります。

特色 3 興味や進路に合わせて
自分にあった時間割を考える
豊富な選択授業

中学校では、総合の時間に選修教科(選科)を設定しています。生徒が自分で考え、自分の興味や学習到達度に合わせて講座を自由に選択でき、成績評価を行わない時間です。

高校3年生は、およそ40の自由選択講座から5講座を選び、計10単位を修得します。立教大学特別聴講生制度もあり、卒業単位と立教大学での単位になります。高校1・2年生には、美術・音楽などの選択科目があります。



Student's Voice

チャレンジしたことが自信につながった

田村さんの選んだ講座 ● Conversation and Communication



田村 有旦さん

ネイティブの先生に教わるができる、英語の「Conversation and Communication」を選択しました。2、3回目の授業までは先生が何を話しているのかわかりませんでしたが、回数が進むうちに少しずつ理解できるようになりました。レベルの高い授業にチャレンジしようと思い選択した結果、リスニング力が身につくようになって良かったと思っています。

Student's Voice

得意教科を選択し、突き詰める

内田さんの選んだ講座 ● 国語基礎・古典研究・古典講読・観光学・福祉



内田 雅輝さん

プレゼンテーション能力を伸ばしたいと思い、「観光学」「国語基礎」を選択しました。「観光学」では、何度も現地調査を行い、資料を集め、観光地の魅力について発表したのですが、発表のためパワーポイントのスキルも身につけることができました。「古典講読」は必修の「古典」よりもレベルが高い授業に満足しました。

中学校

基礎学力を固め、
学習習慣を
身につける



中学校では中高一貫の強みを生かし、6年間を見据えたカリキュラムとなっています。

教科	科目	1 学年	2 学年	3 学年
必修教科	国語	140(4)	140(4)	140(4)
	社会	105(3)	105(3)	140(4)
	数学	140(4)	140(4)	140(4)
	理科	105(3)	140(4)	140(4)
	音楽	45(1)	35(1)	35(1)
	美術	35(1)	45(1)	35(1)
	保健体育	105(3)	105(3)	105(3)
	技術・家庭	70(2)	70(2)	35(1)
	外国語	245(7)	245(7)	245(7)
	小計	990(28)	1025(29)	1015(29)
	宗教	聖書(道徳)	35(1)	35(1)
	礼拝	35(1)	35(1)	35(1)
特別活動		35(1)	35(1)	35(1)
総合		105(3)	105(3)	70(2)
合計		1200(34)	1235(35)	1190(34)

()内の数字は週あたり時間数

選修教科 講座一覧

選科には大きく分けて基礎(選科A)と発展(選科B)の2種類の講座があります。1年を通じて前半を一期、後半を二期としているため、苦手な科目について選科Aで基礎を学び直し、二期で選科Bに移動してさらに学習を進めることができます。

わからないところをフォローし、興味を持ったことはどんどん伸ばしていける授業を目指しています。

1 学年		2 学年		3 学年	
国語B	日本語の表現1	国語B	日本語の表現2	国語B	百人一首を楽しむ
国語B	漢字の世界	国語B	書道	国語B	仮名の書
社会A	社会基礎学習	社会A	社会科基礎学習	社会B	社会の基礎
社会B	社会科自由研究	社会B	社会科自由研究	社会B	社会科自由研究
社会B	「映像」と歴史	社会B	時事問題	社会B	歴史の授業の裏側
社会B	映像で学ぶ歴史	社会B	歴史の授業の裏側	社会B	映像の世紀を観る
社会B	立教の歴史	社会B	池袋の歴史	数学B	数学中級講座
数学A	初級演習	数学A	数学初級講座	数学B	数字を楽しもう
数学A	おさらい数学講座	数学B	数学中級講座	数学B	中数の秘伝ピタゴラス
数学B	数学上級講座	数学B	数学上級講座	理科B	理科基本問題演習
理科A	理科基本問題演習	理科A	理科基礎問題演習	理科B	理科の研究(上級)
理科B	理科の研究	理科B	理科の研究	理科B	天文
音楽A	声楽アンサンブル	理科B	環境	音楽B	声楽アンサンブル
音楽B	ミュージカルを楽しむ	音楽A	器楽演奏II	音楽B	アメリカの音楽
音楽B	リコーダー演奏I	音楽B	音楽家を知ろう	美術B	お面を作る(木彫)
美術B	美術基礎1	美術B	抽象彫刻	体育B	中級スポーツ
美術B	身近な風景を描く(水彩)	体育A	初級スポーツ	体育B	上級スポーツ
体育A	初級スポーツ	体育A	テニスA	体育B	テニス
体育A	テニス	体育B	中級スポーツ	英語B	Eng・Conversation
体育B	中級スポーツ	体育B	テニスB	英語B	Advanced English
体育B	テニス	英語A	英語の確認	英語B	英検準2級講座
英語A	英語不安解消講座	英語A	英語基礎徹底講座	英語B	英検2級講座
英語A	英語基礎学習	英語B	英会話	英語B	Conversation
英語B	Conversation and Communication	英語B	ハイレベル英語	英語B	英国紳士の英語発音
英語B	English Short Stories	英語B	English Conversation		
英語B	English Speech				
合計26講座		合計25講座		合計24講座	

2019年度開講

高等学校

教養を身につけ、
自立した人間に
成長する



自由選択講座 講座一覧

3年生は毎日2時間ずつ、自分の興味や進路に合わせて、幅広い選択講座の中から好きな講座を選択できます。

高等学校3 学年 自由選択講座	
国語基礎	生活と科学
国語演習	化学
国語表現II	地学概論
古典研究	総合音楽
古典講読	書道
会計学	スポーツ科学総論
政治	英文講読
異文化トレーニング	英検 A
観光学	英検 B
法律	英検 C
税法	TOEIC Strategies
経営論	American & British English
国際関係	Stories in English
エスノグラフィー	English through Films
沖縄学	English Conversation
地理学	Debate
福祉	The News in English
現代史	English Presentations and Speeches
数学のススメ	フランス語
数学III①	ドイツ語
数学III②	スペイン語
数学活用	韓国朝鮮語
合計44講座	

2019年度開講

高等学校のカリキュラム

高校1・2年生で必修科目を多く受講し、高校3年生の自由選択講座によって進路の方向性を探ります。

教科	科目	1 学年	2 学年	3 学年
国語	国語総合	4		
	現代文B		2	2
	古典B		2	2
	国語表現※			(★2)
地理歴史	世界史A	2		
	日本史A		2	
	日本史B			(☆4)
	地理A		2	
	地理B			(☆4)
公民	現代社会	2		
	政治・経済			(2)
	倫理			(2)
数学	数学I	3		
	数学II		4	
	数学III			(★6)
	数学A	2		
	数学B		2	
理科	物理基礎		2	
	物理			(☆4)
	化学基礎	2		
	化学			(★4)
	生物基礎	2		
	生物			(☆4)
	化学基礎II※		2	
保健体育	体育	2	2	4
	保健	1	1	
芸術	音楽I	(◆2)		
	音楽B※		(△1)	
	美術I	(◆2)		
	美術B※		(△1)	
外国語	コミュニケーション英語I	3		
	コミュニケーション英語II		4	
	コミュニケーション英語III			4
	英語会話	2		
	英語表現I	2		
	英語表現II		3	3
家庭	家庭基礎		2	
情報	情報の科学	2		
宗教	聖書※	1	1	1
	礼拝※	1	1	1
選択	必修選択	2	1	4
	自由選択	◆印の科目より1つ選択	△印の科目より1つ選択	☆印の科目より1つ選択
ホームルーム		1	1	1
総合探究		1	1	2
合計		35	35	34

※: 学校設定科目

教科紹介



英語 ▶ 少人数で本物の英語にふれる授業 目指すは真の英語力

本校では、3つの目標「自己発信力」「コミュニケーション能力」「異文化理解と対応力」を設定。

実践的な英語力を身につけられるように、Listening、Speaking、Reading、Writingのそれぞれをバランスよく実施しています。コミュニケーションの授業では、スピーチの作成や発表を積極的に取り入れ、通常の英語の授業でも検定の教科書以外に、ESL、EFL教材*など自然な表現の英語でつくられた教材を使用しています。

中学校では4技能のバランスがとれた学習を大切にしており、高校では、英語圏をはじめ世界を相手に正確に理解し、的確な表現で自己発信できる英語力の育成をはかっています。英検やTOEFL、TOEICなど公的な検定試験にも挑戦できるように、選択科目の中に検定受検対策プログラムが用意されています。

*第2言語あるいは外国語として英語を学ぶための教材

授業構成と内容

各学年、文法や語彙など英語力の根幹を定着させる授業、映画や音楽、ニュースなど生の音源で英語耳をつくる授業、スピーチ発表やエッセイ作成などを通して自己表現のスキルを磨く授業、という具合にさまざまな角度からバランスの取れた運用能力を育むカリキュラムが組まれています。外国語能力を磨くには、臆せずに話を弾ませることができるアットホームな雰囲気大切です。

検定試験・資格試験

自分の英語力を証明する手段の1つとして、中学校では英検3級の受験を全員に課しています。また、高校では立教大学への推薦要件の1つとして、英語についての一定の能力の認定を設け、英検、GTEC for Students Advanced、TOEFL Junior、TOEICを学校で受験できる機会を設けています。

中学校 1学年	英語 Practicum Communication	英語(週3時間) 「New Crown English Series 1-3」を用いて、英語全般について基礎を積み上げる形で学習します。いわゆる教科書を用いた、汎用性の高い学びになります。
中学校 2学年	英語 Practicum Communication	Practicum(週2時間) 英語のInputを中心に実践練習を行う授業で、Listening、Grammar、Vocabularyを中心に扱います。英語圏で使われている教材(ESL/EFL教材)や実際の生活の音源などを用います。
中学校 3学年	英語 Practicum Communication	Communication(週2時間) Essay WritingやInterview、Speech等英語のOutputにも重きを置いた授業展開で、生徒自身が実際に英語を使う機会を多く取り入れています。
高等学校 1学年	コミュニケーション英語I 英語表現I 英語会話	中学校で学んだ内容を発展させて、Reading、Writing、Listening、Speakingのバランスの取れた授業を展開します。教材も教科書以外に副教材として本物の英語に触れられるものを多用しています。特定の目的のためでない、幅広い英語力の習得を目指しています。
高等学校 2学年	コミュニケーション英語II 英語表現II	
高等学校 3学年	コミュニケーション英語III 英語表現II 自由選択	

骨太なリスニング力と自然な発音を身につけます



安原教諭

「宿題やんきや」、「うっせーよ」——日常会話では、どの言語でも音の脱落、変化が起こります。日本語でも無意識に音を崩して話をしている我々ですが、崩れ方にも一定の音声的環境が介在し、規則が存在します。高校1年の英語会話の授業では、音声学の知見をもとに音の崩れを観察しつつ、映画や音楽、インタビューなど、外国人向け教材を想定していない生の音源で効果的に英語耳を作ります。

五感を使って英語の基礎を身につけます



中川教諭

英語学習において英文法は必要不可欠です。しかし、文法の授業ばかりをやっても英語は身につけません。習った文法に「出会う」ことがとても大切です。中学1年のPracticum Communicationの授業では、文法練習だけに終始せず、平易な英文をたくさん読んだり、英語の歌を完全に暗誦できるまで歌ったり、自由英作文に取り組んだり、目、耳、口、手を使い、あらゆる手段で英語に触れ、実際に使ってみることで、英語学習の土台となる基礎を身につけています。

Learn Practical English



ロバートソン教諭

I believe our school is very lucky to have a number of native speakers of English from several countries working here. All of our students have the chance to use and practice their English with native speakers and that helps build their confidence to use and improve their English skills.

Student's Voice

「話す」「聴く」実践的な英語を勉強



今田 慎吾さん

英語学習では、英会話に重点をおいて勉強しています。受験のための勉強だけでは、英語圏の人たちと対等に話せないと思うからです。そのための勉強法として、映画は字幕を見ながら、洋楽は歌詞を追いつつ英語を聴き取るようにしています。その甲斐あってか、英国語学研修では、色々な国からの参加者と楽しく過ごすことができました。

海外留学

アメリカキャンプや提携校であるCCESとの交換体験留学、高校では英国語学研修、さらに都内のインターナショナルスクールとの交流などの活動を通して英語を使う機会を多く設けています。

Special Advanced Class(Sクラス)

主に帰国生を中心とした、英語の得意な生徒を対象に選抜テストを実施して構成されたクラス。

週7時間の授業のうち、ネイティブスピーカーによる英語だけの授業を4時間実施し、英語力の維持とスキルアップを目指します。帰国生以外もこの選抜テストを受けることができ、学年ごとにチャレンジできます。

国語 ▶ 「日本語」を通して物事を深く捉え自分の意見を伝える力を身につける

中学校 1学年	国語 書写	国語3時間と書写の学習をします。
中学校 2学年	国語	説明的文章、文学的文章をバランスよく扱います。文学的文章には詩歌も含まれます。2年生では「平家物語」、3年生では「奥の細道」などの古典も学習します。実作に力を入れており、行事などの節目でさまざまな文章を作成します。
中学校 3学年	国語	
高等学校 1学年	国語総合	現代文分野・古典分野を半分ずつ扱います。さらに、古典では古文と漢文を学習することになります。
高等学校 2学年	現代文B 古典B	現代文Bでは、小説や随筆、評論などをバランスよく扱います。実作にも力を入れています。古典Bでは、題材として古文と漢文の両方を扱います。分量の目安は大体半分ずつです。
高等学校 3学年	現代文B 古典B 自由選択	



社会 ▶ 地理・歴史・政治・経済、倫理を有機的に捉え社会でどう生きていくか考える

中学校 1学年	社会	地理的分野、主に世界の自然地理学、北アメリカ・ヨーロッパ・東アジア・東南アジアの地誌、日本の系統地理を扱います。
中学校 2学年	社会	歴史的分野、主に世界史(原始～古代)、日本史(旧石器～江戸時代)を扱います。
中学校 3学年	社会	歴史的分野(主に中世～近代の世界史)、公民的分野(主に民主政治の原則と日本国憲法、基本的人権、統治機構)を扱います。
高等学校 1学年	世界史A 現代社会	世界史Aでは近現代史(イギリス産業革命・フランス革命)を扱います。現代社会では中学3年生の公民に引き続き国際政治、現代の経済社会、国際経済、倫理を扱います。
高等学校 2学年	日本史A 地理A	日本史Aでは近現代史(江戸時代末期)を扱います。地理Aでは、グローバル化のなかでの貿易、地域統合、東南アジア・南アジア・西アジア・北アフリカ・南アフリカの地誌を扱います。
高等学校 3学年	[必修選択] 地理B、 日本史B、政治・ 経済&倫理(法律・政治)、 政治・経済&倫理(経済)、 政治・経済&倫理(社会学) [自由選択] 13科目	大学の学部教育への入門的な位置づけとして、学部に対応した必修選択5科目を、また、より専門的な探究のため自由選択13科目を開講しています。



数学 ▶ 筋道をたてた説明や証明ができ根拠に根ざした理解力をつける

中学校 1学年	数学	「正負の数」「文字と式」「方程式」「比例と反比例」「平面図形」「空間図形」「資料の活用」「不等式」を学習します。
中学校 2学年	数学	「式の計算」「連立方程式」「1次関数」「平行と合同」「三角形と四角形」「確率」を学習します。
中学校 3学年	数学	「多項式」「平方根」「2次方程式」「関数 $y=ax^2$ 」「相似な図形」「三平方の定理」「円」「図形の性質」を学習します。
高等学校 1学年	数学I	「数と式」「2次関数」「図形と計量」「データ分析」を学習します。
	数学A	「場合の数と確率」「整数の性質」「集合と論証」を学習します。
高等学校 2学年	数学II	「方程式・式と証明」「数列」「三角関数」「指数関数・対数関数」「微分と積分」を学習します。
	数学B	「ベクトル」「図形と方程式」を学習します。
高等学校 3学年	[自由選択] 数学III 数学活用 数学のススメ	全て自由選択科目となります。



理科 ▶ 実験・観察により探究心を持って自然事象の理解を深める

中学校 1学年	理科	「第2分野 植物の生活と種類」「第1分野 物質のすがた」「第1分野 身近な物理現象」「第2分野 大地の変化」について学習します。博物館の見学も実施します。
中学校 2学年	理科I 理科II	理科Iでは「化学変化と原子・分子、電流とその利用」について学習します。電流では、個人の理解度やペースにあわせた個別学習スタイルで授業が進みます。理科IIでは「動物の生活と生物の進化」「気象のしくみと天気の変化」について学習します。
中学校 3学年	理科I 理科II	理科Iでは「化学変化とイオン」「運動とエネルギー」「科学技術」について学習します。理科IIでは「生命の連続性」「自然界のつながり」「地球と宇宙」「自然環境と人間」について学習します。
高等学校 1学年	生物基礎 化学基礎	生物基礎では「遺伝子」「体内環境」「バイオーム」について学習します。化学基礎では「物質を構成する粒子」「酸・塩基」までを学習します。どちらも中学での発展学習を踏まえた授業展開で実験を多く取り入れます。
高等学校 2学年	物理基礎 化学基礎II	どちらもハーフクラスでの授業展開で、実験を多く取り入れます。物理基礎は「運動、波、エネルギー、電流」について学習します。化学基礎IIは「酸化・還元」から「無機・有機」など化学へも踏み込みます。
高等学校 3学年	[必修選択] 物理、生物 [自由選択] 化学、生活と科学、 地学概論	理系学部進学を考えている生徒は、必修選択で物理もしくは生物、自由選択で化学を履修します。文系学部進学を考えている生徒は生活に密着した科学技術などについて学習できる生活と科学が履修できます。



音楽 ▶ 体で覚え 全身で表現する力をつける

中・高共に歌唱を中心に表現する力を養います。器楽はアルトリコーダーやギターを学び、プロの先生によるレッスンがあります。生の音楽に触れることを目的にピアノトリオによるジャズ演奏、金管五重奏の音楽鑑賞など、感性豊かな人間教育を目指しています。



美術 ▶ 創造する喜びと 感性に磨きをかける

手を動かし、体験することを大事にしています。物をつくることで感性が磨き上げられ、思わぬ発見をすることもあります。中学では鉛筆デッサンからはじめて、デザインや版画、墨絵などにも挑戦します。文化に興味を持ち、芸術を見る目を養います。



聖書・礼拝 ▶ 聖書に親しみ、チャペルで祈り、 自分、仲間、社会、世界について心静かに考える

聖書は今から2000年以上も前に書かれた古い書物でありながら、今なお全世界で読まれています。

本校では、学校生活の基本に祈りを据え、聖書・礼拝を大切に、節度と秩序、マナーを身につけ、他者への思いや

り、感謝する心を養うために「聖書」「礼拝」をそれぞれ週1時間ずつ設けています。

聖書を学びつつ、新しい人生を歩み、神や人々によって生かされている喜びを体験しましょう。



保健体育 ▶ 健全な心身を育み 表現力や判断力を培う

中高生は身体的にも精神的にも著しく成長します。この時期に仲間とともに体を動かし協同することは、情緒面の発達を促し、協調性を身につけ、表現力や判断力を培うことに繋がります。この6年間で気づくことのできる課題に向き合い、心身の健全な成長を促します。



技術・家庭 ▶ 自立した社会人になるための準備をする

技術科は、中学ではコンピューターの基礎を、高校では表計算ソフトからプログラミングまで学習します。家庭科は、被服実習や調理実習を通じ、身近な問題へのアプローチから生活者としての意識を高めます。



祈り

毎日の始業前と終業後に行う学活では、各クラスごとに祈りを献げます。各学期の始業礼拝と終業礼拝、入学式、卒業式、イースター（復活日）礼拝、収穫感謝礼拝、クリスマス（降誕日）礼拝、創立記念礼拝などは、全校生徒・教職員が集まり共に祈ります。

朝礼

毎週水曜日8時より、全校生徒・教職員がグラウンドに集い、全員で祈ります。

学年礼拝

各学年ごとに週に1度、授業時間内に立教大学池袋キャンパスにある立教学院諸聖徒礼拝堂（池袋チャペル）で行います。心静かに同学年の全員と共に祈り、共に学ぶ時間です。



清里キャンプ

5月中旬～下旬に清里高原にて、中学1・2年生それぞれ2泊3日のキャンプを行っています。祈りに始まり祈りに終わる日々を過ごし、規律正しい集団生活を体験します。各種プログラムを通して、生徒同士や先生との交流を深め、自然と自己を見つめる機会となっています。

キャンプの体験はクラスごとにまとめ、R.I.F.(文化祭)で発表しています。



中1清里キャンプ

開所式から始まり、班別ハイク、登山、合唱大会など、豊かな自然の中での共同作業を通じ、お互いの魅力と可能性を感じることができます。



中2清里キャンプ

目的別プログラムや夜の森をライトなしで歩く「ナイトハイク」など、レンジャーと呼ばれる専門スタッフとの自然保護活動を通して自然をより深く学び、友情や絆を強めます。



校外学習

中3・高2の5月に、4泊5日の現地学習の旅をします。中学生は本州、高校生は本州以外の日本国内からコースを作成します。

「何を学習するためにどこに行くのか」を1年かけてじっくりと考え、コース作成委員によるプレゼンテーションや自分が調べたことを参考に、希望の行き先を選択します。研究テーマを設定して、班別の自主研修を含めた現地学習を行い、レポートを作成します。



中学3年
(過去の実施コースなど)

- 東北コース
- 北陸コース
- 山陽・山陰コース
- 関西コース

高校2年

(過去の実施コースなど)

- 道央・道東コース
- 四国コース
- 九州コース
- 沖縄コース



国際交流

✿ 海外との交流を通して、異文化や

社会を正しく理解し、グローバルな視点を養う

海外の少年たちとの交流を通して異文化や社会を正しく理解し、将来必要な国際感覚を身につけられるよう取り組んでいます。



英国語学研修

8月頃 約2週間 対象:高校生

英国での夏期語学研修、文化交流

英国の伝統あるパブリックスクール、ラグビー校で、世界各国から参加する同世代と2週間過ごし、英語力はもちろん、国際感覚を養います。帰国後もSNSなどでのやり取りを通し、参加者たちは英語力に磨きをかけています。

Student's Voice



明星 悠大さん

多種多様なバックグラウンドを持つ仲間たちと授業、エクササイズやスポーツなどを英語だけでこなしました。授業は少人数で話すことに重点を置いたグループワークが中心で、国によって全く違う法律や問題があるなど新たな気づきを得られ、問題意識が高まりました。多様性や英語を学ぶ意義などを見出せる2週間になると思います!

アメリカキャンプ

8月上旬 約2週間 対象:中学2年生~高校1年生

キャンプを通じて、文化の違いを超えて交流する

本校の母体となった「アメリカ聖公会」との繋がりに、長年にわたりアメリカの各地で行われてきた海外キャンプ。現地の青少年キャンプに立教生も参加する海外体験プログラムです。

Student's Voice



佐藤 竜誓さん

キャンプでの経験を通じて、英語はもちろん、日本と海外の文化や価値観の違いを学ぶことができました。日本ではなかなか機会がもてない海外の方々とコミュニケーションなど、これからの時代に必要と思えることを体験的に学べたと思います。不安に思うこともあるかもしれませんが、貴重な経験になると思うのでぜひチャレンジしてみてください!

CCES(Christ Church Episcopal School)短期交換留学

3月下旬 約2週間 対象:中学2年生

春の短期留学、ホームステイで学ぶ貴重な体験

毎年3月にアメリカ聖公会の私立学校CCESへ2週間の短期留学を行っています。6月にはCCESからの留学生が本校の授業に参加します。長年続いているこのプログラムでは、異文化交流を通じて大切な出会いと友情を育んでいます。



ギャップイヤー留学

(アメリカ・マルタ・オーストラリア等)
進路の決定した高校3年生が、1カ月間英語を学び海外体験をします。

海外留学(個人)

中学、高校とも1回ずつ、1年以内の留学を認めています。



奨学金制度

国際交流奨学金(給与)

本校が主催する国際交流プログラムに参加する生徒の国際交流体験を奨励します。

海外留学奨学金(給与)

休学して海外留学した場合、状況に応じて留学期間中に納入した授業料(半額)を、復学した時点で還付します。

キャリア教育

✿ 自ら学び考える力を養い、

将来のための力をつける



高校1年 キャリア学習

職業を通して人生を考える

Point 1 事前学習として、自分が興味ある職業(業種・職種)などについて調べる



Point 2 業種ごとにグループを作り、その業種に就いている人に直接インタビューし、価値観・仕事観・人生観などを知る



Point 3 インタビューの内容やその業種についてのポスターセッションやプレゼンテーションを行い、全体で共有する



将来、社会人・職業人として社会で生きていくための基礎的な態度と力を発達させることを目的としたプログラムです。

社会人に接することで、ライフデザインとしてキャリアをとらえ、自分の人生を考えるきっかけにします。グループごとに職業インタビューを行い、ポスター制作とプレゼンテーションで成果を共有します。

スケジュール		
4月上旬	オリエンテーション ●プログラム概要説明 ●事前学習課題内容の提示 業種アンケートの実施 アンケート結果によるグループ分け	
4月中旬	各グループから インタビュー訪問職種希望先抽出	
5月初旬	事前学習課題提出 外部講師による インタビュー方法のレクチャー	
特別プログラム	1日目	5日間のオリエンテーション 外部講師による基調講演
	2日目	立教大学教員による特別講義 グループごとにインタビュー内容チェック
	3日目	グループごとにインタビュー実施
	4日目	ポスターセッション・ プレゼンテーションに向けたまとめ作業
	5日目	ポスターセッション・ プレゼンテーションの実施 プログラム振り返り
事後	感想提出 報告書やまとめをインタビュー先にお礼状とともに送付	

Student's Voice

学生時代は社会人になるための大切な準備期間



細谷 航平さん

東京メトロの運転士への取材を通じて、鉄道の要である安全輸送と定時運行を継続しながら、スムーズに列車を運行することの大変さを知り、「鉄道マン」としてのプロ意識を学びました。鉄道業界にも人口減少に揺るがない経営戦略が求められます。立教池袋で知識を深め、「鉄道マンになる」という目標に向かってレールを走っていきたいと思います。

高校3年 TOEIC WEEK

日常生活や社会生活に英語を結びつけて学ぶ

大学進学を見据えて自己の英語力を高めるために、高校3年では5日間の「TOEIC WEEK」を実施しています。ECCの講師陣による講座を受け、最終日のTOEIC IP Testで実力を計ります。また、Global StudyとField Workで生きた英語を体験します。

1日目	2・3日目	4日目	5日目
ECC講座 TOEIC Guidance	ECC講座 Global Study Field Work	ECC講座 模擬テスト	TOEIC IP Test

Global Study

10人程度のグループにネイティブの講師が付き、すべて英語で会話をします。

Field Work

外国人向けの日本人ガイドに英語で東京を案内してもらい、その感想や注意事項をシェアリングします。



卒業研究論文

自らのテーマを探究し持論を打ち立てていく

卒論の作成は高2から始まります。最初の1年間は教員全員が小グループ(3人程度)を担当し、テーマの発見から仮説作成まで一人ひとり面接を繰り返して指導します。高3では週2時間の卒論講座を通して生徒自ら論文を完成させ、プレゼンテーションまで行います。生徒はこの学びを通して自分の頭で考え、論拠に即した結論を導き、わかりやすく伝達する過程を体験します。

高2	4月	基礎資料の読み込み開始
	6月	オリエンテーション
	9月	卒論の領域決定、面接
高3	11月	卒論のテーマの決定、面接
	2月	仮説の作成、面接
	5月	中間報告書作成、面接
	9月	卒論提出・審査
	10月	口頭発表



Student's Voice

自分の興味や関心を追究し正義感について掘り下げた論文



齊藤 州さん

卒業研究論文は、冤罪に焦点を当て、「取り調べの可視化」をテーマにしました。日本での事例が少ないためデータ不足を懸念しましたが、間接的なデータを隙間なく組み合わせ、海外のデータも参照して説得力を強める工夫をしました。一方的な主張にならないよう、客観的、時には批判的な視点を持って向き合っ て執筆することを心がけました。

立教大学特別聴講生制度

高校3年生は立教大学の授業科目を受講することができます。大学生に混ざって授業に参加し、演習を行います。受講した科目は、自由選択講座として高校の卒業単位になると同時に、立教大学に進学した際の卒業要件単位としても認定されます。例年10人程度の生徒が受講しています。



生徒会活動—自分達で考え、話し合い、行動する

生徒会

「個々のスキルを生徒のために役立てる」を信念に活動しています。

取り組み例 3階に飲み物の自販機を設置する

飲み物の自販機が1階のカフェテリアにしか設置されていないため、4階の高校生が休み時間に買いに行くには不便だということで、提案しました。法的に設置が可能かを区役所に確認したり、設置することにより生じる費用は工事費と電気料金だということを確認した上で、生徒代議員会にかけ可決されましたが、教職員会議の審査で否決されました。しかし、継続

審議が可能だと判断されたため、改変案を準備しています。

そのほか、「クールビズ化」「体育館に鍵付き傘立てを設置する」などを提案しました。

また、他校生徒会との合同会議・討論会などへの参加、立教池袋主催の討論会の計画・企画、他校生徒会への行事の伝達などの外務活動も行っています。



カフェテリアの営業時間以外にも軽食を購入できるよう自販機の設置を提案、承認された。

生徒が主体となって行う行事

R.I.F. (Rikkyo Ikebukuro Festival)

毎年、11月2日、3日の2日間にわたり開催される、秋の最大行事です。運動部の招待試合、学芸部の発表会、演奏会、有志演奏・ダンス、生徒個人や学年での自由研究・イベント、模擬店など、さまざまな催しを行います。

そのために、R.I.F.実行委員会が約半年かけて企画を考えます。中高生が一丸となり、会場の割り当て、予算の立案など、議論を重ねて作り上げていきます。

当日も来客対応や企画運営など、実行委員一人ひとりが主体的に動きます。



ボランティア活動

フィリピン薬品支援ボランティア活動

1998年からフィリピンの小学校に薬品を送る活動をしています。生徒が自主的にR.I.F.でバザーを開き、生徒や保護者から献品された物を販売した収益を日本フィリピンボランティア協会を通じて現地のNGOに渡し、薬品に交換して配布します。現地の小学校から送られてくるお礼の手紙は、異文化交流のきっかけとなっています。



その他のボランティア

- 清里環境ボランティア
- ワークキャンプ(渋川)
- ワークキャンプ(榛名)
- 豊島区保育園ボランティア
- ごみゼロ運動With豊島区

体育祭

体育祭実行委員会が協力して企画・運営を行っています。

過去の体育祭を振り返り、「体育祭を実行すべきかどうか」から話し合いを始めます。そして、競技の選定、進行方法、備品の確認などについて、半年かけて議論を重ねます。並行して、体育祭用のTシャツのデザイン画を一般生徒より募集し、決定したものを全校生徒が着用します。

当日は、実行委員会による綿密な計画と、参加者一人ひとりの協力によってプログラムが進行します。全員、力いっぱい競技に取り組みます。



年間行事

● 中学校 ● 高等学校 ● 共通



- | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 |
|---|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 入学式 ● 中1・高1オリエンテーション ● イースター礼拝 ● 健康・体力診断 | <ul style="list-style-type: none"> ● 創立記念礼拝 ● 中1・2清里キャンプ ● 中3・高2校外学習 ● 高1キャリア学習 ● 高3TOEIC週間 | <ul style="list-style-type: none"> ● 前期中間テスト ● CCES交換留学 | <ul style="list-style-type: none"> ● 前期総合テスト ● 学年行事 ● 夏季休業 |



- | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
|---|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 海外キャンプ ● 英国語学研修 ● ワークキャンプ ● 中学英数補習 | <ul style="list-style-type: none"> ● 中学実力テスト ● 生徒総会 | <ul style="list-style-type: none"> ● 中期中間テスト ● 体育祭 | <ul style="list-style-type: none"> ● R.I.F.(文化祭) ● 秋季休業 ● 収穫感謝礼拝 |



- | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 創立者ウィリアムズ 主教記念日 ● 帰国児童入試 ● 中期総合テスト ● クリスマス礼拝 ● 冬季休業 | <ul style="list-style-type: none"> ● 中1・2実力テスト ● 聖パウロ回心日礼拝 | <ul style="list-style-type: none"> ● 中学一般入試 ● 高校一般入試 ● 生徒会役員選挙 | <ul style="list-style-type: none"> ● 後期総合テスト ● 中1・2合唱コンクール ● 卒業式 ● 春季休業 ● スキー学校 ● CCES短期留学 |

学校生活をサポート

生徒が有意義な日々を過ごせるようにさまざまな支援体制を整備。安心して学校生活を送れるようにバックアップしています。

保健室



健康診断の結果をもとにした生活指導、怪我の応急処置、体調不良時の対応などを行っています。ちょっと元気がないときに気軽に立ち寄れる場所でもあります。



真崎養護教諭

保護者勉強会「生徒の健康を考える会」

保護者と中高生の心身の健康について考える勉強会を実施しています。学年の枠を超えて保護者が、さまざまな専門の講師からお話を伺います。

教育相談支援体制

生徒は、クラス担任と太いパイプで結ばれ、養護教諭がサポートします。教科担当、クラブ顧問、チャプレン、スクールカウンセラー、生徒部長、相談担当教員は、学校で起こるさまざまな問題について真実を見極め、個々との対話を積み重ね、一人ひとりの問題に寄り添った最善の解決を探ります。

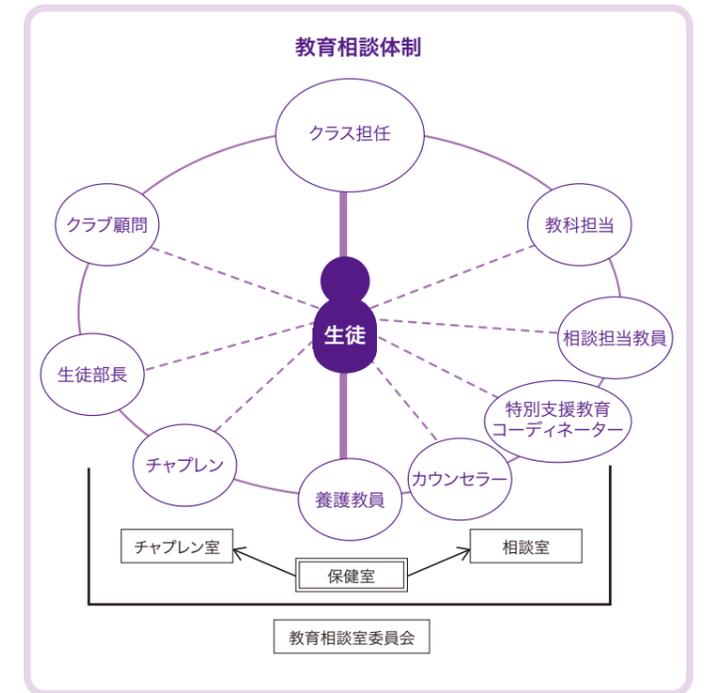


生徒の成長に向き合い、寄り添います



山際
スクールカウンセラー
(臨床心理士)

生徒や保護者の心配や悩みについて一緒に考えていくのがカウンセラーです。生徒自身が自分のテーマに向き合い、成長できるよう寄り添います。また、教職員のネットワークの一員として、学校内のサポートを最大限に生かせるよう努めています。「カウンセリング」というと抵抗を感じるかもしれませんが、気軽に話しましょう。



※相談室委員会の内容には守秘義務があります

安全対策



警備体制

- 立教大学の警備室と連携して24時間体制で警備を行っています。
- 正門の守衛室に警備員が常駐して来校者を確認、入構証を渡しています。

学校からの情報発信

- 「Classi」で学校からの情報を受け取ることができます。また、学校行事の連絡、配布資料の確認ができます。緊急時の連絡も行います。

運動部 伝統を受け継ぎ、活躍を誓う!

※クラブ活動実績 中: 中学校 高: 高等学校
 中学校: 立教中学校時代(～1999年)から現在まで
 高等学校: 開校(2000年)から現在まで

陸上競技部

体力の向上と気力の充実と共に、目標に向かって努力することを学んでいます。

- 中 全国大会: 出場16回、ジュニアオリンピック: 出場7回(入賞2回)
 関東大会: 出場21回(優勝1回、入賞11回) 都大会: 総合優勝1回
- 高 インターハイ: 出場15回(優勝1回、入賞6回)
 国体: 出場3回(優勝1回、入賞1回) 南関東大会: 出場32回(入賞15回)

ゴルフ部

学校のクラブ活動として、ゴルフを通じた人間作り・仲間作りを目指して活動しています。

- 中 全国大会: (団体) 出場12回連続、(個人) 10回
 日本ジュニア: 出場3回
- 高 全国大会: (団体) 出場3回、(個人) 10回
 日本ジュニア: 出場4回

※入部を希望する場合は事前に学校までご相談ください。



山岳スキー部

仲間の大切さを学び、友情を育てることを目標に活動しています。

- 中 全国大会: 出場6回
 都大会: (団体) 優勝4回、(個人) 優勝4回
- 高 全国大会: 出場2回、関東大会: 出場20回
 都大会: (団体) 優勝4回、(個人) 優勝5回

庭球部

試合に勝つための努力・チームワークを通じて、人格の向上を目指しています。

- 中 全国大会: 優勝2回、準優勝3回、関東大会: 優勝15回
 都大会: 優勝11回、準優勝10回
- 高 関東大会: 出場(団体1回、個人1回)
 都大会: ベスト8 10回

水泳部

心身を鍛え、仲間との絆を大切に、メリハリのある学校生活を目指しています。

- 中 全国大会: 出場11回(優勝2回、2位3回)
 関東大会: 出場7回
- 高 全国大会: 出場10回(優勝1回、2位1回)
 関東大会: 出場12回
 国体: 出場4回(2位1回)

卓球部

技術・体力・精神力の向上と、チームワークを通して成長することを目指しています。

- 中 東京都私学大会: (個人) 優勝1回
 都大会: (団体) ベスト16 3回
 (個人) ベスト64 2回
- 高 都大会: (団体) ベスト16 3回、(団体) ベスト32 8回
 (個人) ベスト32 1回

野球部

人格形成を目指すと共に、野球の楽しさも学んでいます。

- 中 関東大会: 出場1回
 都大会: 優勝6回、準優勝1回
- 高 東京都大会(夏季): ベスト32 4回
 都大会(秋季・春季): ベスト32 2回

サッカー部

仲間と共にサッカーができることに感謝し、チーム全体の強化を目指しています。

- 中 都大会: 優勝2回、ベスト8 1回
- 高 都大会: ベスト32 2回、
 ベスト56 1回

釣同好会

自然を相手に自然体で取り組みます。仲間と共に穏やかな時間を味わっています。

2.3kg 真鯛	相模沖船
2.5kg アオリイカ	初島波止
96cm 野鯉	多摩川上流
3kg フラサ	三浦沖
52cm メジナ	松輪間口港
釣果更新中	

バスケットボール部

技術の向上と心身の強化を目指しています。

- 中 全国大会: 準優勝1回
 関東大会: 出場2回
 都大会: 優勝3回
- 高 都大会: ベスト16 1回、ベスト32 4回

剣道部

心身を練磨して旺盛な気力を養い、礼儀正しい人間となることを目指しています。

- 中 都大会: (団体) ベスト16 3回
- 高 都大会: (団体) ベスト32 2回、
 二部優勝1回

学芸部 伝統を受け継ぎ、未来につなぐ



アコライト・ギルド
立教学院唯一の中高生と大学生が所属する団体で、礼拝奉仕などのお手伝いをします。



吹奏楽部
仲が良く活気があります。初心者でもすぐに楽器を奏でられるようになります。



鉄道研究同好会
鉄道会社の施設見学に出かけたり、模型コンテスト出場や文化祭での展示に向け、精力的に活動しています。



文芸部
中学で基礎を学び、高校から大会に参加。小説や俳句など多岐にわたります。



天文部
太陽観測や学校に泊まり込んでの天体観測を行い、文化祭で発表・展示します。



英語部
ディベートやスピーチ・劇に加え、模擬国連などの練習を行い、大会に出場します。



写真部
「目に映るものを“カタチ”に」を合い言葉に、自分の写真の楽しみ方を学びます。



クワイヤー
礼拝で奉仕する聖歌隊です。イースターやクリスマス礼拝で活動をしています。



生物部
身近な疑問に着想を得た、さまざまな研究を行います。また日本学生科学賞に出展します。



科学部
日々の研究活動を通して科学の楽しさを学び、その成果をコンクールや学会で発表しています。



数理研究部
数学と社会科学の繋がりをプログラミングやコンテンツを制作することで探究し、研究発表します。



演劇部
演劇は総合芸術です。舞台に立つことは素晴らしい経験となります。



地歴研究部
夏に行われる研究旅行を中心に活動しています。



放送研究部
朝の伝達放送や朝礼での放送、体育祭や文化祭での放送を行っています。



美術部
文化祭での展示やコンクール出品を目標に、自由なテーマで作品づくりをします。



聖ポーロ会
聖書の学習やオルガンのレッスンをしています。



施設紹介

理想的な学習環境



教室

中学生の教室は3階に、高校生の教室は4階にそれぞれ12室ずつ配置。全教室に電子黒板機能付プロジェクターを完備。



英語教室

ICT化に対応した、少人数用の10教室を完備。



情報教室

情報化社会に対応した授業を展開するための専用の教室。



家庭科室

テーブルごとにIHクッキングヒーターとシンクを備えた、調理実習対応の教室。



センテニアルホール

音響にも配慮した多目的ホール。256席の移動観覧席を設置し、最大450人まで収容できる。



図書館

生徒の学習活動をはじめ、豊かな人間形成と教養を身につけるための蔵書73,297冊(2019年3月)を備え、学びをバックアップ。中学1年にはガイダンスを実施、各教科においても図書館で行う授業がある。



化学実験室

実験台ごとに排気装置を設け、安全性に配慮した実験室。



カフェテリア

売店を併設し、休み時間には大勢の生徒が集う開放的な空間。

充実のスポーツ施設



テニスコート

砂入り人工芝コートが3面。



トレーニングルーム

ガラス越しにアリーナを一望できる開放的な空間に、さまざまなトレーニングマシンを完備。



屋内練習場

校舎5階にある、29m×12m×梁下高さ5m、2重張りネットの練習場。野球部、ゴルフ部が使用。



グラウンド

陸上・野球・サッカー・テニスなどの多種多様なスポーツに対応した全面人工芝グラウンドと全天候型の走路。



アリーナ(体育館)

地下1階、地上4階の体育館。1階はバスケットコート2面の広さで、2階部分には1周125mのランニングコースがある。



プール(体育館)

50m×6コース、水深1.2～1.5m。1年を通じて使用できる屋内温水プール。

進路・進学

生徒たちは本校での学びを通じ、自分なりの目標を持って大学へ進学します。

立教大学への進学

例年、卒業生の85～90%の生徒が推薦により立教大学に進学しています。

高校3年間の学業成績と卒業研究論文、自己推薦の各評価をポイント化して、その合計で推薦順位が決まります。その順位の上位者から各学部学科の推薦人数枠の範囲で、希望する学部学科を選択します。

立教大学への推薦入学の基準・条件

- 1 高等学校が定める卒業に必要な単位を修得していること
- 2 学校生活上の状況が良好であること
- 3 立教大学への進学を希望し、勉学の意思を明確に持っていること
- 4 卒業研究論文を提出し、認定されること
- 5 英語について一定の能力(英検2級程度)を習得していること
- 6 高等学校長宛に自己推薦レポートを提出し、認定されること



立教大学推薦入学者数

学部	学科	推薦枠	決定数
文学部	キリスト教学科	2	0
	史学科(日本史学専修)	8	5
	史学科(世界史学専修)		
	史学科(超域文化学専修)		
	教育学科	3	4*
	文学科(英米文学専修)	6	7*
	文学科(ドイツ文学専修)	2	1
	文学科(フランス文学専修)	2	2
	文学科(日本文学専修)	4	2
	文学科(文芸・思想専修)	3	3
計	30	24	
異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	6	6
	計	6	6
経済学部	経済学科	13	13
	会計ファイナンス学科	7	7
	経済政策学科	7	7
	計	27	27
経営学部	経営学科	9	9
	国際経営学科	7	7
	計	16	16
理学部	数学科	2	2
	物理学科	2	0
	化学科	2	0
	生命理学科	2	2
	計	8	4
社会学部	社会学科	6	6
	現代文化学科	6	6
	メディア社会学科	6	6
	計	18	18
法学部	法学科	14	16*
	政治学科	4	4
	国際ビジネス法学科	4	6*
	計	22	26
観光学部	観光学科	7	2
	交流文化学科	6	5
	計	13	7
コミュニティ福祉学部	福祉学科	6	0
	コミュニティ政策学科	6	0
	スポーツウエルネス学科	4	1
	計	16	1
現代心理学部	心理学科	6	1
	映像身体学科	6	1
	計	12	2
GLAP	GLAP	1	1
合計		169	132

※ 立教新座高等学校からの余剰枠受け入れによる

受験による大学進学

他大学への進学を希望する生徒は、被推薦権を放棄して他大学を受験します。本校では、受験のための授業や講座は基本的に設けていませんが、サポートを行っています。

他大学進学者の合格実績

東京大学 京都大学 東京工業大学 一橋大学 慶應義塾大学 早稲田大学 国際基督教大学(ICU) 上智大学 明治大学 中央大学 東京理科大学 明治薬科大学(薬学部) 東京大学(医学部) 慶應義塾大学(医学部) 東京慈恵会医科大学(医学部) 東京医科大学(医学部) 杏林大学(医学部) 日本医科大学(医学部) 北里大学(医学部) マサチューセッツ工科大学 イリノイ大学 セントアンドリュース大学

卒業生メッセージ



「自分の軸」を見つけられたことで、
今後進むべき方向が明確に

立教大学大学院 経営学研究科国際経営学専攻

新井 優志さん

立教池袋で過ごした6年間では学業だけでなく、さまざまな活動を通じて、自分の強みや弱みを知ることができました。今の進路に進んだきっかけになったのは、高1のキャリア週間に経営学部のデビス教授の特別授業から刺激を受け、自分も英語を活かしながら経営の勉強が

したい、と思ったことです。また、卒業論文の作成過程で培った論理力や伝える力は、大学生生活のいいスタートを切るきっかけになったと思います。現在は経営学研究科のダブルディグリープログラムを通じてフランスのNEOMA Business Schoolの修士課程に正規留学をしています。



卒論の追究が、将来の夢へ
突き進む契機になりました

全日本空輸 FOC(フライトオペレーションセンター)副操縦士
立教大学 社会学科卒業

豊田 真之さん

現在は全日本空輸で副操縦士をしています。フライトに関わる全員の力を結集し、完遂できたときにやりがいを感じています。高3の卒論は航空力学をテーマに、実験や物理学の式を用いた検証で構成しました。私は理系専攻でしたが、英語はもちろん、コミュニケーション能力の鍛錬には国語の勉強が活きていますし、数学も統計学や三角関数など仕事のツールとして活用しています。パイロットの世界に「先輩の恩は後輩に返せ」という言葉があります。フライトの技術をはじめとする先輩からいただいた多大な恩を後輩へ伝えながら努力を重ね、先輩に比肩できる機長になりたいと思います。



好きなこと、打ち込めることを
立教池袋で見つけました

カリフォルニア大学パークレー校大学院

物理学科

副島 智大さん

アメリカ西海岸にあるカリフォルニア大学パークレー校で、理論物理の研究に勤めています。多くの優秀な研究者に囲まれて、日々刺激を受けています。立教池袋で6年間所属した科学部では、研究の意味、発表の仕方を叩き込まれました。理系選択の同級生と数学や理科について語り合ったことは楽しい思い出です。皆さんも何か1つ熱中して学べることを見つけ、求めてください。たとえ苦労しても、その経験は必ず将来の役に立ちます。



立教池袋中学校・高等学校

〒171-0021 東京都豊島区西池袋5-16-5
TEL 03-3985-2707 <https://ikebukuro.rikkyo.ac.jp/>



- 最寄りの駅** —— 池袋駅(西口) 徒歩10分 [JR線、東京メトロ丸ノ内線・有楽町線・副都心線、西武池袋線、東武東上線]
要町駅(6番出口) 徒歩5分 [東京メトロ有楽町線・副都心線]
椎名町駅 徒歩10分 [西武池袋線]
- 最寄りのバス停** —— 池袋車庫 徒歩5分 [池袋駅～JR中野駅]
池袋二丁目 徒歩4分 [池袋駅～高島平駅/中丸町・熊野町]

立教池袋中学校・高等学校公式Facebook・Instagramもご覧ください。



Facebook 始めました



Instagram も始めました

